

## プレスリリース（仮訳）

2023年4月27日  
米国ワシントンDC

### 監査監督機関国際フォーラム（IFIAR）が2023年本会合を米国ワシントンDCにて開催

4月25日から27日にかけて、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のパンデミックが始まって以降初めてとなる対面でのIFIAR本会合が、ワシントンDCにて開催された。44の国・地域を代表するIFIARメンバーが参加し、監査業界における主要な動向や新たなトレンドに関する議論を行った。

---

IFIAR議長のデュエイン・デスパルテ（Duane DesParte）氏は、次のように述べた。「本会合は、IFIARメンバーが監査監督の実務、経験や知見を共有し、互いに学び能力を向上させるための重要なフォーラムを提供している。また、監査法人のグローバルネットワークやその他の主要な外部ステークホルダーとの交流を通じて、本会合は、公益に資する持続可能で質の高い監査の重要性を強調するプラットフォームの役割も果たす。」

\* \* \*

新たにIFIAR議長に選出された長岡隆氏は、次のように述べた。「2023年IFIAR本会合は、グローバルなパンデミックから脱して以降初めて、各IFIARメンバーの指導者達が直接集まる機会となった。本会合では、様々な新たな動向に関して実りある議論が行われ、それらは現在及び今後数年の監査品質にとって重要なものとなるだろう。また、本会合を主催した米国PCAOB（公開会社会計監督委員会）と、IFIAR議長としての任期中、IFIARのミッション（グローバルに監査監督を向上させることにより、投資家を含む公益に資すること）の推進に努め続けてきたデュエイン・デスパルテ氏に感謝したい。」

---

一連のパネルディスカッションを通じて、メンバー、オブザーバー、その他の主要なステークホルダーの代表は、監査品質の向上、サステナビリティ報告及びその保証に関する要求事項、監査専門職の魅力向上を含む、主要な動向やトレンドについて議論した。

- シンポジウムセッションは、「監査専門職の魅力」と、監査専門職のキャリアへの関心の低下が現在及び将来の監査品質に与える影響に関する基調講演により開幕した。このテーマは分科会でも取り上げられ、基調講演者に加えて、6大グローバル監査法人ネットワーク<sup>1</sup>で構成されるGPPCの代表、Center for Audit QualityのCEO、欧州とアフリカのIFIARメンバーが参加し、更なる視点を提供した。
- 2つ目の分科会では、サステナビリティその他のESG情報の報告及びそ

---

<sup>1</sup>（金融庁/公認会計士・監査審査会事務局注）BDO、Deloitte Touche Tohmatsu、Ernst & Young、Grant Thornton、KPMG 及び PricewaterhouseCoopers。

の保証に関する動向に焦点を当てた。この分科会のモデレーターは、IFIAR内に新たに設置されたサステナビリティ保証タスクフォースのメンバーが務め、アジア・欧州・大洋州のIFIARメンバーがパネリストとしてそれぞれの地域の動向を共有した。

- 3つ目の分科会は、一定の法域で見られる新たな動向、すなわち、上場会社監査の担い手が大手監査法人からより規模の小さい監査法人に異動する件数が増加していることについて議論する機会となった。アジア、欧州、北米のパネリストが、このトレンドに伴う監査品質や公益上の論点について議論した。
- IAASB（国際監査・保証基準審議会）議長とIESBA（国際会計士倫理基準審議会）議長が登壇するセッションでは、不正とサステナビリティに関するものを含め、それぞれの基準設定活動についての議論が行われた。IFIARの投資家・その他利害関係者ワーキンググループの外部諮問グループのメンバーが登壇するセッションでは、監査の失敗を引き起こす要因に関するステークホルダーの見方についての議論があった。
- 6大グローバル監査法人ネットワークのグローバルCEOが参加する各セッションでは、(i)各ネットワークの戦略（成長・リスクマネジメント・公益上の責任のバランスや、採用・雇用継続の観点を含む）、(ii)監査品質についての見方（最近の倫理問題を含む）、(iii)非財務情報であるサステナビリティその他のESG情報の報告に対する保証の提供に係る準備状況と戦略に触れつつ、幅広い議論が行われた。
- 夕食会での基調講演では、グローバルな資本市場における監査に対する社会的な信頼の重要性や、そのような信頼を醸成する上での監査人や監査監督当局の役割に焦点が当てられた。

### ワーキンググループ及びタスクフォース

IFIARのワーキンググループ（WG）議長・タスクフォース（TF）リードから、過去1年間の活動報告と今後1年間の主な計画について共有があり、質疑応答を行った。IFIARのWGとTFはメンバー主導で運営されており、IFIARがミッションを達成する上で重要な役割を果たす。IFIARの5つのWGと3つのTFは、それぞれ、監査品質、検査、執行、基準設定、投資家・その他利害関係者、テクノロジーの活用、サステナビリティ保証の各分野において、実務的な成果物に焦点を当てている。

### IFIAR正副議長及び代表理事の選挙

2023年本会合と共に、デュエイン・デスパルテ氏のIFIAR議長任期が終了し、IFIARは、同氏の過去4年間にわたる正副議長としての貢献とリーダーシップに謝意を表した。新たな正副議長の選挙が行われ、議長に長岡隆氏（日本・金融庁/公認会計士・監査審査会）、副議長にケヴィン・プレndergast氏（Kevin Prendergast）氏（アイルランド・IAASA）が選出された。

代表理事会メンバーについては、ブラジル（CVM）、台湾（FSC）、ギリシャ（HAASOB）、トルコ（CMB/POA）が再選された。各メンバーの任期は4年で、オーストラリア（ASIC）、カナダ（CPAB）、フランス（H3C）、ドイツ（AOB）、アイルランド（IAASA）、日本（JFSA/CPAAOB）、オランダ（AFM）、南アフリカ（IRBA）、シンガポール（ACRA）、スイス（FAOA）、英国（FRC）、米国（PCAOB）と共に、代表理事会は計16か国・地域のメンバーで構成される。

## IFIAR について

監査監督機関国際フォーラム（IFIAR）は、2006年に設立され、アフリカ、北米、南米、アジア、大洋州、欧州の54の国・地域の独立した監査監督当局で構成されている。そのミッションは、グローバルに監査監督を向上させることにより、投資家を含む公益に資することである。IFIARは、世界中の監査品質や規制の実務について、対話や知見の共有ができるプラットフォームを提供し、規制活動における協調を促している。IFIARの公式のオブザーバーは、バーゼル銀行監督委員会（BCBS）、欧州委員会（EC）、金融安定理事会（FSB）、保険監督者国際機構（IAIS）、証券監督者国際機構（IOSCO）、公益監視委員会（PIOB）及び世界銀行である。IFIARに関する更なる情報については、IFIARウェブサイト（[www.ifiar.org](http://www.ifiar.org)）を参照されたい。

---

<sup>i</sup> ロシアのメンバーは、現在、IFIARの知見共有や会合に参加しておらず、したがって2023年本会合にも参加者を派遣しなかった。